科目名	音楽基礎B4							年度	2026
英語科目名	Basic Theory of Music B4							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 2年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	田中 綾美		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ピアニスト	

【科目の目的】

イヤートレーニングによる相対音感の強化、譜面の正確な読み書きのトレーニングを目的とする。アーティストにとって相対音感を鍛えることと記譜・読譜スキルは、ミュージシャン同士の意思疎通を行う上で必要不可欠なスキルである。また、「音楽基礎A」の授業で取り扱う「音楽理論」についてより深く理解することも目的とする。

【科目の概要】

毎回の授業内で、講師が演奏したフレーズを耳コピして譜面に起こすトレーニングや、初見演奏、視唱等のトレーニングを行う。また、音楽理論のさらに幅広い知識を習得するために、記譜法や音程の解説なども行う。

【到達目標】

A. コードの響きの違いを聞き分けられる
B. ダイアトニックコードを理解できる
C. コード進行を採譜できる
D. コード進行を分析できる
E. 視唱ができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	コードの響きの違いを聞き分けられ、どのようなものか説明できる		コードの響きの違いを聞き分けられる		コードの響きの違いを聞き分けられない
到達目標 B	ダイアトニックコードを理解でき、どのようなものか説明できる		ダイアトニックコードを理解できる		ダイアトニックコードを理解できない
到達目標 C	コード進行を採譜でき、綺麗に書くことができる		コード進行を採譜できる		コード進行を採譜できない
到達目標 D	コード進行を分析でき、どのようなものか説明できる		コード進行を分析できる		コード進行を分析できない
到達目標 E	視唱ができ、初見視唱もできる		視唱ができる		視唱ができない

【教科書】

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	音楽基礎B4	年度	2026
英語表記	Basic Theory of Music B4	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	コード①	メジャーとマイナーの響きを理解する	1	コードの書き方	コードの書き方を理解できる		
			2	メジャー	メジャーの響きを聞き分けられる		
			3	マイナー	マイナーの響きを聞き分けられる		
5	コード②	他の3和音の響きを理解する	1	ディミニッシュ	ディミニッシュの響きを聞き分けられる		
			2	オーグメント	オーグメントの響きを聞き分けられる		
			3	サスフォー	サスフォーの響きを聞き分けられる		
3	コード③	4和音(メジャー系)の響きを理解する	1	Major 7th	Major 7thの響きを聞き分けられる		
			2	7th	7thの響きを聞き分けられる		
			3	6th	6thの響きを聞き分けられる		
4	コード④	4和音(マイナー系)の響きを理解する	1	minor 7th	minor 7thの響きを聞き分けられる		
			2	minor 7th(♭5)	minor 7th(♭5)の響きを聞き分けられる		
			3	minor 6th	minor 6thの響きを聞き分けられる		
5	コード⑤	テンションの響きを理解する	1	9th/♭9th/#9th	9th/♭9th/#9thの響きを聞き分けられる		
			2	11th/#11th	11th/#11thの響きを聞き分けられる		
			3	13th/♭13th	13th/♭13thの響きを聞き分けられる		
6	コード⑥	ダイアトニックコードの響きを理解する	1	トニック	トニックの役割を理解できる		
			2	サブドミナント	サブドミナントの役割を理解できる		
			3	ドミナント	ドミナントの役割を理解できる		
7	音感トレーニング①	3和音のコード進行を聞き分ける	1	コードの動き	コードの動きを正確に捉えることができる		
			2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる		
			3	答え合わせ	精度を高めることができる		
8	音感トレーニング②	4和音のコード進行を聞き分ける	1	メロディの動き	コードの動きを正確に捉えることができる		
			2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる		
			3	答え合わせ	精度を高めることができる		
9	音感トレーニング③	テンションが入ったコード進行を聞き分ける	1	コードの動き	コードの動きを正確に捉えることができる		
			2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる		
			3	答え合わせ	精度を高めることができる		
10	分析トレーニング①	楽曲のメロディーを耳コピする	1	メロディの動き	メロディの動きを正確に捉えることができる		
			2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる		
			3	答え合わせ	精度を高めることができる		
			1	コードの動き	コードの動きを正確に捉えることができる		

11	分析トレーニング②	楽曲のコードを耳コピする	2	採譜	聴いた音を五線譜に書くことができる		
			3	答え合わせ	精度を高めることができる		
12	分析トレーニング③	コード進行を分析する	1	置き換え	コードをローマ数字表記に変換できる		
			2	コード進行分析	それぞれのコードの機能を分析できる		
			3	移調	採譜したコード進行を移調できる		
13	視唱トレーニング①	メロディを視唱する	1	メロディの把握	メロディの進行を正確に把握できる		
			2	練習	把握したメロディを歌唱できる		
			3	視唱	音符を見ながら歌唱できる		
14	視唱トレーニング②	メロディを初見視唱する	1	メロディの把握	メロディの進行を正確に把握できる		
			2	視唱	音符を見ながら歌唱できる		
			3	答え合わせ	精度を高めることができる		
15	総復習	2年間に学んだ内容の総復習	1	振り返り	2年間に学んだ内容を復習できる		
			2	課題発見	足りない部分を課題として発見できる		
			3	卒業後の目標	卒業後の目標を設定できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等